

慣用語の意味

ねん

くみ
なまえ

【問題】 左の慣用語の意味を読み、正しく使うことができている問題文に○をつけましょう。

慣用語

ねこの手もかりたい



意味

ひじょうにいそがしくて、人手が足りないじょうたいで、
どんな助けでもほしい強い気持ち

【問題文】

()

いねかりの時期の農家は、ねこの手もかりたいです。

()

今はひまなので、ねこの手もかりたい。

()

犬は、お手をするが、ねこはしないので、ねこの手もかりたいと思います。

慣用句の意味

ねん

くみ
なまえ

【問題】左の慣用句の意味を読み、正しく使うことができている問題文に○をつけましょう。

慣用句

足がぼうになる



意味

長い間、歩いたり立ちつづけたりして、足がひどくつかれているじょうたい。

【問題文】

()

体をそのする時は、足を曲げずにまっすぐ立ち、足がぼうになるようにしたいです。

()

たくさん歩いたので、足がぼうになった。

()

今日は一日中家でねていたので、足がぼうになりました。

慣用句の意味

ねん

くみ
なまえ

【問題】 左の慣用句の意味を読み、正しく使うことができている問題文に○をつけましょう。

慣用句

虫がすかない



意味

はつきりとした理由はないけれど、何となくいやだと思
う。

【問題文】

() 人から虫がすかないと言われる立派な人になりたいと思いま
す。

() 虫がすかないけれど、バッタは好きです。

() この主人公は自まん話ばかりしているので、虫がすか
ない。

慣用句の意味

ねん

くみ
なまえ

【問題】左の慣用句の意味を読み、正しく使うことができている問題文に○をつけましょう。

慣用句

さじを投げる



意味

これい上どうしようもないと思ひ、あきらめて見放すこ
と

【問題文】

()

料理をしている時に、さじを投げて使うのはよくないです。

()

わたしは、この問題がむずかしくて、さじを投げました。

()

かれは、いっしょうけんめい走る練習をして、さじを投
げています。

慣用語の意味

ねん

くみ
なまえ

【問題】 左の慣用語の意味を読み、正しく使うことができている問題文に○をつけましょう。

慣用語

顔が広い

意味

交さいはんいが広く、知り合いが多いこと



【問題文】

()

友だちが少ないので顔が広いのはしかたがない。

()

先生は、せが高いので顔が広い。

()

父は、この町で知らない人がいないほど顔が広いようです。

慣用語の意味

ねん

くみ
なまえ

【問題】 左の慣用語の意味を読み、正しく使うことができている問題文に○をつけましょう。

慣用語

火花をちらす



意味

たがいにゆずらず、はげしくあらそうこと

【問題文】

() バレーボールの試合では、日本とアメリカが火花をちらして、たかいました。

() きノウ、火花をちらして花火をしました。

() ともだちと公園で、火花をちらしてなかよく遊びました。

慣用句の意味

ねん

くみ
なまえ

【問題】もんだい 左の慣用句の意味を読み、正しく使うことができている問題文に○をつけましょう。ひだり かんようく いみ よ ただ つか もんだいぶん

慣用句 かんようく

ほねをおる

意味 いみ

一生けん命にはたらくこと、人のためにど力すること いっしょうめい ひと りよく

【問題文】もんだいぶん

() 体育の時間、こけて、足のほねをおりました。 たいいく じかん あし

() 母は、家のかたづけをするのにほねをおって手つだってくれた。 はは いえ へ

() この仕事はかんたんなので、ほねをおりました。 しごと

慣用句の意味

ねん

くみ
なまえ

【問題】 左の慣用句の意味を読み、正しく使うことができている問題文に○をつけましょう。

慣用句

馬が合う

意味

気が合う、意気投合すること



【問題文】

()

友人といつもけんかをしているので、馬が合うのだと思う。

()

この風けいに馬は合います。

()

わたしと姉は、しゅ味が同じで、馬が合います。

【問題】 左の慣用句の意味を読み、正しく使うことができている問題文に○をつけましょう。

慣用句

図に乗る

意味

いい気になって、調子に乗る、つけあがること



【問題文】

()

円と三角形の図形は、図に乗ってかきます。

()

わたしは先生にほめられて、図に乗ってしまいました。

()

わたしは落ちこんで、図に乗りました。